

広島県高体連各加盟校長 様

広島県高等学校体育連盟
会長 平田 浩一
(公印省略)

広島県高体連主催大会(3大会の地区大会も含む)の開催について(通知)

平素から、本連盟の活動に御理解と御支援をいただき深く感謝申し上げます。

さて、広島県高体連では、開催が可能となった 17 競技について、県総体代替大会を 7 月 11 日～8 月 9 日の期間で開催することができました。加盟校の皆様におかれましては、安全な大会実施に向け、多方面で御協力をいただき、ありがとうございました。

今後、広島県高体連では、代替大会が実施できなかった競技を含めた、全専門部の主催大会の実施について、感染状況を勘案し、関係機関と連携しながら準備を進めてまいりたいと考えております。

については、この度、令和 2 年 6 月 19 日通知でお示した「各校の大会参加の基本的な考え方」等(別紙)の改定版を専門家と連携し、策定しましたのでお知らせします。

各加盟校におかれましては、新たな日常の中で運動部活動についても模索の日々が続いているのではないかと考えますが、今後とも安全・安心な大会実施に向けて、御理解と御協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

なお、新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドラインの最新版については、高体連ホームページ(<http://www.hssf-h.gr.jp/>)にお示ししておりますので御確認ください

記

1 大会参加の判断及び当該部・部員の健康管理・行動把握について

- (1) 当該部・部員の大会参加の可否は、本人・保護者の意向や心情にも十分配慮し、校長の責任において判断してください。
- (2) 試合予定日の 2 週間前からの、部員等の健康管理、行動把握を徹底してください。
- (3) 部員等に感染等の疑いが生じた場合、感染拡大防止に向け適正な対応をお願いします。また、自身の体調について素直に申し出るよう部員等を指導してください。

2 大会参加の可否等に起因する誹謗・中傷、強要・いじめ等の根絶について

- (1) 大会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上での開催とはなりますが、本人・保護者の大会参加の意思を尊重するとともに、各家庭の事情(高齢者や基礎疾患のある方との同居等)も十分考慮してください。また、本人・保護者の意思に反して大会参加を強要されたり、大会不参加が原因で、いじめ等が生じたりすることがないように、部員等を指導してください。
- (2) 部員や顧問等の感染等により、チームが大会に参加できなくなった場合、このことによる誹謗・中傷、いじめ等が生じることがないように、部員等を指導してください。
- (3) 当該部のみならず大会役員・関係者等に感染が広がる恐れが生じた場合、大会中止等の判断をいたします。この場合、感染者等になった者には一切責任が無いことについて、部員等に指導してください。

(別紙)

■ 各校の大会参加の基本的な考え方

大会参加の可否は、生徒、教職員を含めた学校や県内や大会開催地域の感染状況等を勘案し、学校長が判断し責任を持つ。その際、感染への不安等で参加を見送る生徒及び保護者の意思が尊重されること。

- 1 本人・保護者が大会要項やガイドライン等を確認し、同意の上、大会に参加する。当日体調不良(※1)があった場合は参加できない。また、PCR 検査を受ける予定、又は PCR 検査を受けた者は、結果が判明するまでは、大会に参加できない。

(※1) 体調不良 … 検温の結果 37.5℃以上の場合、体調が良くない場合(発熱、咳・咽頭痛、味覚・臭覚障害などの症状がある場合)は大会会場への来場を自粛する。

- 2 感染者及び濃厚接触者の生徒及び顧問等は、療養及び自宅待機等の期間(※2)後、更にその日数分を安全な大会参加に向けた回復(練習)期間として充て、その間は大会に参加できない。ただし、顧問等の回復期間については、その限りではない。

(※2) 療養及び自宅待機等の期間 … 保健所等の指示に従い行動すること。なお、今後、知見の集積により逐次見直しがあることに御留意ください。

- ・濃厚接触者は感染者と最後に接触した日から2週間自宅待機の健康観察期間とする。ただし、回復(練習)期間については、判定を受けた次の日からの日数分を充てる。
- ・感染者については、有症状者は発症後、無症状者は検体採取後から10日間(有症状者は、かつ症状軽快から3日経過が要)を療養期間とする。また、回復期間については、その同日数分を充てる。ただし、PCR 検査2回連続陰性確認で退院可とする基準より療養期間が短縮される場合もある。

(例) 濃厚接触者の場合、感染者との最後の接触から5日目に濃厚接触の判定を受けた時、残り9日間の自宅待機が必要となり、更に同日数分(9日間)の回復期間後に大会参加を可とする。

(例) 感染者の場合、症状軽快後にPCR 検査2回陰性となった日が、発症して8日目だった時は、更に8日間の回復期間後に大会参加を可とする。

- 3 大会参加者及び役員等は、大会2週間前から大会当日まで体調の記録を行い、県高等学校体育連盟に提出することとし、大会終了後2週間以内に感染の可能性が認められた場合は、速やかに県高等学校体育連盟に報告すること。

■ 濃厚接触者選定に関する注意事項について

◎ Jリーグ、プロ野球等で実際に起こった、濃厚接触者選定に関する事案

プロスポーツにおいて、チーム内で感染者が出た際、濃厚接触者に含まれなかった選手やスタッフから陽性者が複数出たことにより、感染範囲の特定が困難となりチーム全体の活動が停止となった例が報告されています。部内で感染者が出た場合の聴取等において、陽性者との接触の度合いの申告には適切に対応してください。

※プロスポーツにおいてチーム全体の活動が停止となった例

令和2年8月12日、エディオンスタジアム広島で19時にキックオフ予定だったサンフレッチェ広島対サガン鳥栖の一戦の中止が決まった。

試合前日、サガン鳥栖監督の陽性が確認されたことで、鳥栖では選手やスタッフ、社員ら89人を対象に独自にPCR検査を実施していた。その結果、濃厚接触者とされていた人に加え、新たに複数人に「陽性」、「陽性の可能性が高い」との診断が出た。これを受けて、感染拡大防止のために試合の中止が決まった。